



萱中だより

《校訓》 礼儀・自主・勤労・協同

三笠市立萱野中学校

校長 菊地 佳子

三笠市萱野 192 番地 Tel 2-2308

発行：令和2年8月20日 <特別号>

『全国学力・学習状況調査』結果

新型コロナウイルス感染症のため今年度中止となりました「全国学力・学習状況調査」ですが、1学期末に国語・数学の授業時間を使い、本校独自で実施を致しました。

昨年度から「主として『知識』に関する問題(A問題)」、「主として『活用』に関する問題(B問題)」に区分するといった整理が見直され、一体的に問題が構成させるようになり、両教科においても「知識の習得」とどまらず「知識の活用」を中心とした問題が多く出題されました。これは次年度からスタートする次期学習指導要領でも重要とされている「主体的・対話的で深い学び」につなげるための問題構成となっており、生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質能力の育成を目指したものとなっています。

※11月頃に国立教育政策研究所のHPに問題や解説資料が掲載されますので、詳しくはそちらをご覧ください。

国語・数学以外は実施していないため、全体の学力を測るものとはおりませんが、本校生徒の学力の状況を知る客観的な資料として分析し、今後の指導に役立てていきたいと考えています。

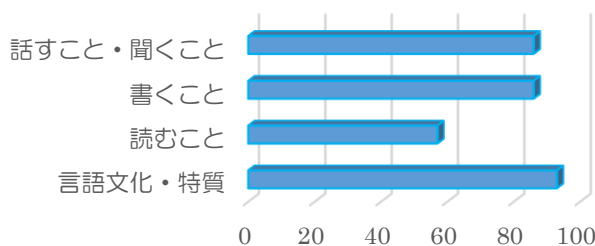
～ 教科ごとの結果 ～

【国語】

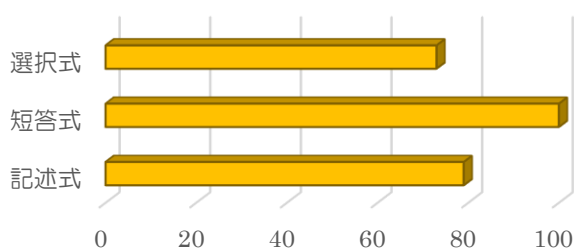
全体的な正答率 **11.71/14** **【84%】**

正答率は全体的に高く、14問のうち12問で70%を越え、漢字・歴史的仮名遣いについては100%でした。しかし、4月に実施した標準学力テストにおいても同様の傾向が見られましたが、読む能力に課題が見られました。

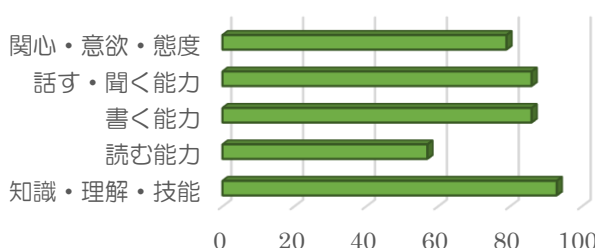
領域別



問題形式



観点別

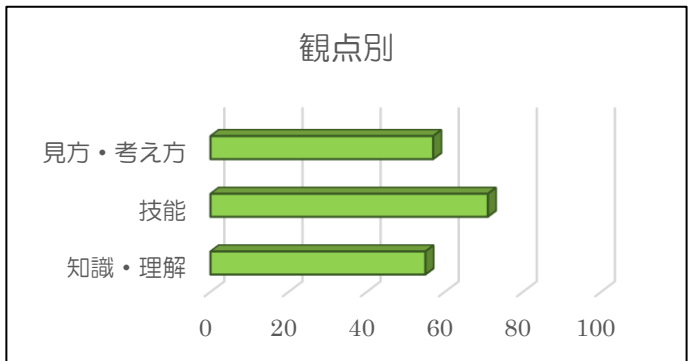
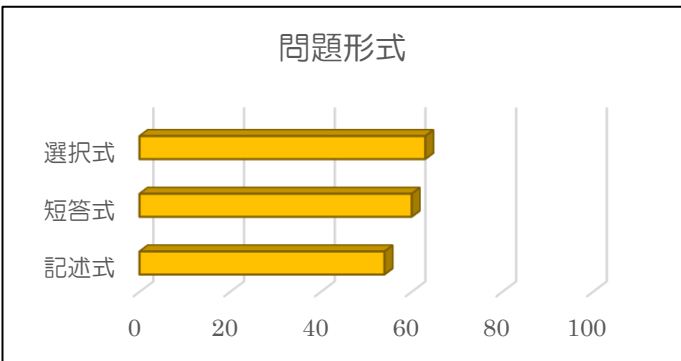
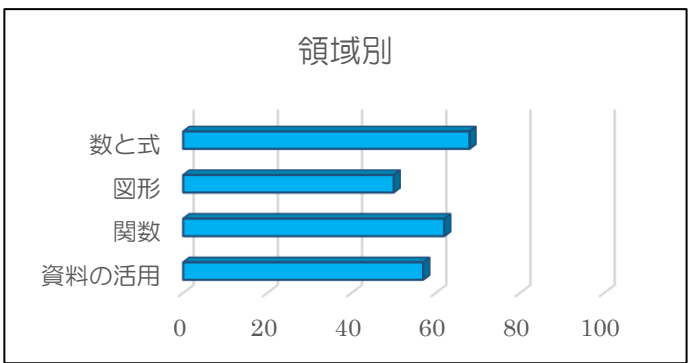


【正答率が70%以上の設問の出題趣旨】	
話す・聞く能力	○自分の考えが相手にわかりやすく伝わるように工夫して話す ○資料や機器などを効果的に活用した話し方について理解する
書く能力	○自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書く
読む能力	○文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、内容を捉える
言語についての知識・理解・技能	○行書の特徴を理解する ○助詞の働きについて理解する ○文脈に即して漢字を正しく読む ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む ○文の成分の照応について理解する。
【正答率が50%未満の設問の出題趣旨】	
読む能力	○文章の内容を捉え、書き手の考えを理解する

【数学】

全体的な正答率 **8.86/15** 【59%】

大きくは二極化の傾向が見られます。また、選択問題や短答式の正答率が高い反面、証明問題をはじめ説明等を求められる記述式の問題については正答率が低く、無回答の生徒も多いなど、課題が見られました。



【正答率が70%以上の設問の出題趣旨】	
数学的な見方や考え方	○事象における数量の関係を見出し、それを的確に捉えることができる。 ○連立方程式を解く過程を振り返り、事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる。
数学的な技能	○目的に応じてヒストグラムから分布の特徴を読み取ることができる。
数量や図形などについての知識・理解	○絶対値の意味を理解している。 ○中央値の意味を理解している。
【正答率が50%未満の設問の出題趣旨】	
数学的な見方や考え方	○付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる。 ○データの特徴を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
数量や図形などについての知識・理解	○垂線の作図の方法について理解している。 ○範囲の意味を理解している。

国語の読む力については、『並行読書』を活用しながら、文章の種類に応じた読み方を身につけることができるよう工夫して取り組んでいます。数学については、繰り返し問題を解く中で、道筋を立てて考えたことを、数学的表現を使って説明することができるよう取り組んでいます。また、他の教科においても4月に実施した標準学力検査をもとに、各学年の傾向、課題を洗い出し、その克服に向け、手立てを講じながら日々の授業を行っております。

これからの社会は、「今後10～20年で、今ある仕事の47%がなくなり、子ども達は65%は将来、今は存在していない職業に就く」と言われています。そのような社会を生き抜くために『課題に対して、自身の考えを、自分の知り得た知識を使って、自分の言葉でまとめ、表現し、相手にわかりやすく伝える力』つまり『生きて働く知識・技能、そして、それを効果的に活用する力』を身につけていかなければなりません。

学校では日々、授業改善に努めながら、今後も「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を目指し、1人1人の思考力・判断力・表現力の育成に努めていきます。

「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」の結果について

◇全員が肯定的意見として答えた質問（あてはまる・している、どちらかといえばしている・どちらかといえばあてはまる【生活にかかわって】 に全員が解答）

- ・朝食を毎日食べていますか。
 - ・携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。
 - ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
 - ・学校の規則を守っていますか。
 - ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 【授業にかかわって】
- ・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。
 - ・授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。
 - ・授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う。
 - ・授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えていたと思う。
 - ・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。
 - ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
 - ・友達と話し合うとき、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて、自分の考えを持つことができる。
 - ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか

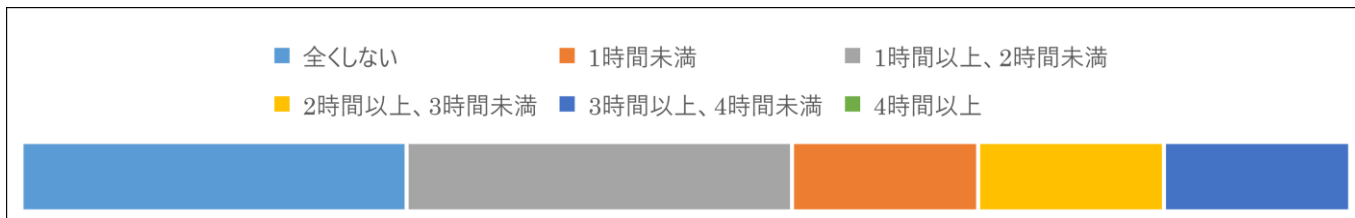
◇否定的意見が多かった質問

- 【生活にかかわって】
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
 - ・家の人（兄弟姉妹を除く）と進路など将来のことについて話をしますか。
 - ・テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。
 - ・難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。
 - ・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
 - ・新聞を読んでいますか。
 - ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
 - ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
 - ・1、2年生の時に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。
 - ・授業で、調べたことや考えたことを1,200字(400字詰原稿用紙3枚)程度にまとめたことがある。

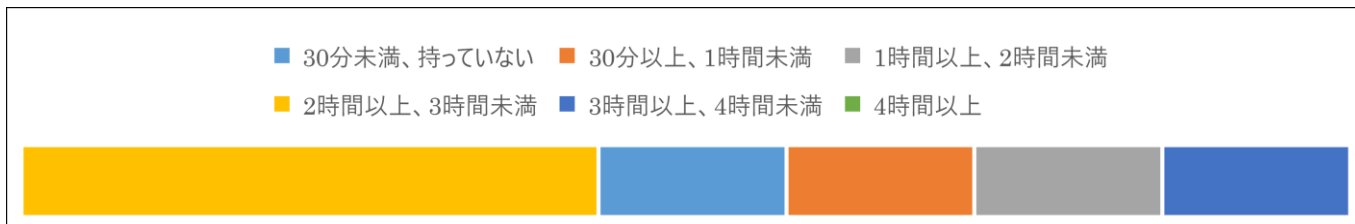
(8) 普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。



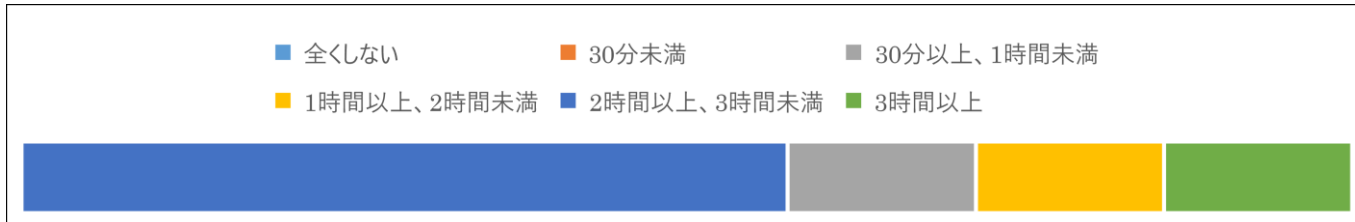
(9) 普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。



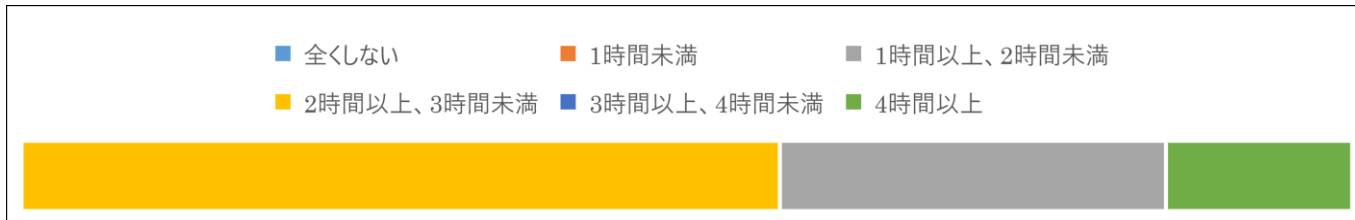
(10) 普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットをしますか。



(21) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



(24) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか。



望ましい生活習慣の確立を目指し、学校では「生活記録表」及び「運動振り返りシート」を活用しながら指導を行っています。また、家庭学習の習慣を身につけるため、三笠市でも市内統一の家庭学習習慣を設けて取組を進めています。学校・家庭が連携しながら取組を進めていくことで、更なる定着が図れると思いますので、今後ご協力、よろしくお願いいたします。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、総合的な学習の時間やCSの活動が予定通り進まない状況が続いたため、「地域への関心」という点では低い数値となっています。これから少しずつ取組を始めていきますので、「地域を知り、地域を愛する心」を育て、『地域と共に歩む学校作り』を進めていきたいと思ひます。